

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 2 月 10 日(2023.2.10)

【公開番号】特開 2022-34263(P2022-34263A)

【公開日】令和 4 年 3 月 3 日(2022.3.3)

【年通号数】公開公報(特許)2022-038

【出願番号】特願 2020-137973(P2020-137973)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 2 月 2 日(2023.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技媒体を貯留可能な貯留部と、
遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、
上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導
通路形成部と、
前記誘導通路形成部の上側に設けられたねじ落下制限部と、
 可動体と、
 複数の発光手段と、
 前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
 前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、
 前記報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パートと、当該当否が報知される当否報知パートと、当該当否報知後であって前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行されるエピログパートとを含んで構成され、
 前記発光制御手段は、
 エピログパートにおいて、エピログパートに対応する輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、
 エピログパートに対応する輝度データテーブルは、第 1 有彩色を表す輝度データと
 、第 2 有彩色を表す輝度データと、を含む複数の有彩色を表す輝度データが順次用いられるように構成されており、
前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該ねじ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限部上に滞留可能に構成されている、
 ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

(A) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技媒体を貯留可能な貯留部と、
遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、
上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導
通路形成部と、
前記誘導通路形成部の上側に設けられたねじ落下制限部と、
可動体と、
複数の発光手段と、
前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、
前記報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パー
トと、当該当否が報知される当否報知パートと、当該当否報知後であって前記有利状態に
制御される旨が決定されているときに実行されるエピログパートとを含んで構成され、
前記発光制御手段は、
エピログパートにおいて、エピログパートに対応する輝度データテーブルを用い
て前記発光手段を制御し、
エピログパートに対応する輝度データテーブルは、第 1 有彩色を表す輝度データと
、第 2 有彩色を表す輝度データと、を含む複数の有彩色を表す輝度データが順次用いられ
るように構成されており、
前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該
ねじ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限
部上に滞留可能に構成されている、
ことを特徴としている。

(1) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 可動体と、
 複数の発光手段と、
 前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
 前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手

段を制御し、
 前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、
 前記報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パー

トと、当該当否が報知される当否報知パートと、当該当否報知後であって前記有利状態に

制御される旨が決定されているときに実行されるエピログパートとを含んで構成され、
 前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行される前記報知演出における

当否報知パートにおいて、前記可動体が第 1 位置から前記表示手段の前面側の第 2 位置に

進出し、
 前記発光制御手段は、
 当否報知パートにおいて、前記可動体が前記第 2 位置に進出するときに、可動体可動

用の輝度データテーブルを用いて前記発光手段を制御し、
 エピログパートにおいて、エピログパートに対応する輝度データテーブルを用い

て前記発光手段を制御し、
 可動体可動用の輝度データテーブルは、有彩色を表す輝度データと、無彩色を表す輝度

データと、が順次用いられるように構成され、
 エピログパートに対応する輝度データテーブルは、第 1 有彩色を表す輝度データと、

第 2 有彩色を表す輝度データと、を含む複数の有彩色を表す輝度データが順次用いられる

ように構成されており、
 前記導入パートは、第 1 導入パートと前記第 1 導入パートと異なる第 2 導入パートとを

含み、

10

20

30

40

50

さらに、
遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、
遊技媒体（例えば、遊技球 P）を貯留可能な貯留部（例えば、球タンク形成部 201）
と、
遊技媒体を払出すことが可能な払出部（例えば、払出装置 200）と、
上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路（例えば、第 1
誘導通路や第 2 誘導通路）を形成する誘導通路形成部（例えば、第 1 誘導通路形成部 202
や第 2 誘導通路形成部 204）と、
前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたカバー部（例えば、第 1 カバ
ー体 310、第 2 カバー体 320、第 3 カバー体 330）と、
を備え、
前記カバー部に、該カバー部上に落下したねじ部材（例えば、ねじ部材 N1～N6、N
11～N16）の前記誘導通路形成部への落下を制限するための所定制限部（例えば、長
孔 316A～316C、凹溝 326A～326C、凹部 336）が設けられ（図 295、
図 297 参照）、
前記誘導通路形成部に、該誘導通路形成部に落下したねじ部材の前記払出部への移動を
制限するための特定制限部（例えば、孔部 271A～271H）が複数設けられている（
図 284、図 285、図 300 参照）
ことを特徴としている。
この特徴によれば、実行される報知演出を好適な輝度制御にて実行でき興趣が向上する
。さらに、カバー部上に落下したねじ部材が誘導通路形成部内に落下することを防止する
ことができる。また、誘導通路形成部内に混入したねじ部材が払出部に混入することを防
止することができる。

10

20

30

40

50